

※ 搬送ベルトに関する情報を無料でお届けします。ご不要の際はご面倒ですが、御社名FAX番号をご記入頂き、FAX06-6465-0708へご返信くださいますようお願い申し上げます。

搬送ベルト知っとく情報

(25年/5月)No.256

発行：吉野ゴム工業(株)

@企画 出口

過去の情報は



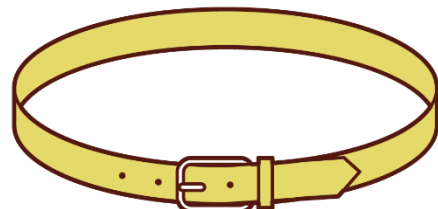
こちらから

～ベルトコンベヤ設備をお持ちの皆様にお役に立つ情報をお届けします～

◆YOSHINO ワンポイント情報!◆

【エンドレスの種類】

コンベヤベルトのエンドレス方法は主に「金具接合」「熱加硫接合」「自然加硫接合」の3通りがあります。今回はこれらのエンドレス方法の変遷についてご紹介します。

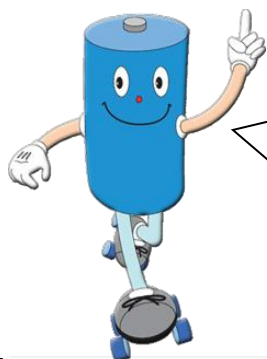


初期のコンベヤベルトは布や革などの天然素材が主流でした。エンドレスもこの布や革の両端を重ねてボルトやステーブル（U字型の針）を用いて機械的に接合する「金具接合」が一般的でした。

1839年に加硫ゴムが発明されるとベルトの素材としてゴムが注目され、帆布入りのゴムベルトが登場します。これにより、エンドレスの加工技術も大きく進化しました。加硫ゴムの技術でベルトを接合する「熱加硫接合」の登場です。機械的な接合よりもはるかに強力で接合部も滑らかになり、ベルトの耐久性や信頼性が大きく向上しました。

さらに20世紀中頃になると合成繊維の帆布を用いたベルトが登場します。同時に、常温で硬化する接着剤の開発が進み、熱加硫接合よりも現場での作業時間が短縮できる「自然加硫接合」が主流となっていきました。

コンベヤベルトの登場から約200年。ベルトと共に進歩してきたエンドレス技術は、現在はベルトメーカー独自のノウハウが追加されています。使用条件や環境に合わせた選定については、当社までご相談ください。



近年、エンドレス部をカメラなどで監視し、異常を早期に発見する予防保全の流れも注目されています。

各接合方法の特徴は、バックナンバー「No.10 コンベヤベルトの接合について」を参照ください。

Yoshino 吉野ゴム工業株式会社
YOSHINO RUBBER INDUSTRIAL CO.,LTD.

■ URL > <https://www.yoshino-rubber.com>

大阪Tel> 06-6461-5751
東京Tel> 03-3883-7159
名古屋Tel> 052-602-0090
広島Tel> 084-916-4011
九州Tel> 093-551-0775